

# 諸外国の雇用維持政策

—アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス—



独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
The Japan Institute for Labour Policy and Training

JILPT 海外労働情報 22-10  
2022 年 10 月

# 諸外国の雇用維持政策

—アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス—

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
The Japan Institute for Labour Policy and Training

## ま　え　が　き

2020年春、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染は瞬く間に世界中に拡大した。感染拡大を食い止めるため各国政府は人の移動を制限するなど経済は一時停止状態となり、雇用にも深刻な影響が及んだ。各国政府は大規模な失業を防ぐための緊急雇用対策を打ち出したが、ここで雇用対策の中心的役割を担ったのは、各国の雇用維持スキームであった。

本資料では、コロナショック下の欧米主要国（アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス）においてとられた雇用・労働関連対策を論じる。特に、今回のコロナショックにおいて、雇用・労働関連対策の中心的役割を担った各国の雇用維持スキームに着目し、各国の政策プロセス等を調査した。

労働市場に甚大な影響を与える今次コロナパンデミックの如きレアディザスターが、今後再び起き得ることは誰も否定できない。本調査が、再び危機に直面した際の雇用対策の在り方を考える一助となれば幸いである。

2022年10月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

理事長 橋口美雄

## 執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	担当
天瀬 光二 あませ みつじ	労働政策研究・研修機構 副所長	序章
石井 和広 いしい かずひろ	労働政策研究・研修機構 調査部 主任調査員補佐	第1章
樋口 英夫 ひぐち ひでお	労働政策研究・研修機構 調査部 主任調査員補佐	第2章
飯田 恵子 いいだ けいこ	労働政策研究・研修機構 調査部 主任調査員	第3章
北澤 謙 きたざわ けん	労働政策研究・研修機構 調査部 主任調査員補佐	第4章

諸外国の雇用維持政策  
—アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス—

目 次

<b>序 章 .....</b>	1
<調査方法>.....	1
<調査項目>.....	1
<調査概要>.....	1
1. 危機下における雇用維持政策 .....	1
2. 各国の雇用維持スキーム .....	3
3. 雇用維持スキームの利用状況と推移 .....	4
4. 雇用維持スキームに対する各国の支出額 .....	5
5. 雇用維持スキームの財源比較 .....	6
6. スキームの特例措置の終了と労働市場 .....	6
7. 雇用維持スキームの特定産業に対する特例措置等 .....	7
小括.....	8
 <b>第 1 章 アメリカ.....</b>	10
はじめに.....	10
第 1 節 操業短縮補償 (STC) .....	10
1. 制定の経緯.....	10
2. 制度の概要.....	11
3. コロナ禍での制度拡充と要件緩和 .....	12
4. 給付状況.....	13
第 2 節 給与保護プログラム (PPP) .....	14
1. 制度の概要.....	14
2. 融資のプロセス.....	16
3. 融資実績.....	17
第 3 節 特定産業に対する雇用維持支援制度.....	17
1. 航空会社対象の「給与支援プログラム (PSP)」 .....	17
2. 航空機製造職保護 (AMJP) プログラム .....	19
3. バス会社等対象の「コロナウイルス経済救済(CERTS)プログラム」 .....	20
4. レストラン・バー等対象の「レストラン再生基金 (RRF)」 .....	20
5. 閉鎖施設運営者助成金 (SVOG) .....	21

第 4 節 コロナ禍における雇用維持政策の評価と課題.....	22
1. 雇用・失業の現況.....	22
2. STC.....	23
3. PPP.....	24
小括.....	25
 第 2 章 イギリス .....	26
はじめに.....	26
第 1 節 制度.....	26
1. 制度概要.....	26
2. 実施主体.....	27
3. 給付.....	27
4. 助成率.....	28
5. 給付プロセス.....	29
6. 期間.....	30
7. 給付状況.....	30
8. 支出額.....	31
9. 財源（一般／雇用の仕分け）の思想 .....	31
10. 併用される他の主な政策 .....	32
第 2 節 コロナショック下における雇用維持スキームの評価.....	35
1. 繼続助成抑制策.....	35
2. 副作用に関する言説 .....	35
3. 雇用・失業の現況 .....	36
4. 不正受給.....	38
小括.....	39
 第 3 章 ドイツ .....	41
はじめに.....	41
第 1 節 制度.....	41
1. 制度概要.....	41
2. 実施主体.....	42
3. 給付・徴収.....	43
4. 財源（一般／雇用の仕分け）の思想 .....	43
5. 失業保険料率.....	43
6. 給付プロセス.....	44

7. 継続助成抑制策	45
8. 副作用に関する言説	45
第 2 節 コロナ禍における特例措置	45
1. 対象	48
2. 助成率	48
3. 期間	49
4. 給付状況	49
5. 支出額	51
6. 併用される他の主な雇用維持政策	52
第 3 節 コロナ禍における雇用維持スキームの評価	53
1. 金融危機時との比較	53
2. 雇用・失業の現況	57
3. 不正受給	58
4. モラルハザード	59
小括	60
<b>第 4 章 フランス</b>	<b>62</b>
はじめに	62
第 1 節 制度	62
1. 制度概要（コロナ対策特例措置の実施前、2020 年 2 月までの制度）	62
2. 実施主体	62
3. 給付と徴収	62
4. 財源	63
5. 失業保険等の料率	63
6. 給付のプロセス	63
7. 給付要件	63
8. 適用対象となる労働者の範囲	64
9. 助成率	64
10. 税・社会保険減免等	65
11. 適用期間	65
第 2 節 コロナ禍における制度の変遷	65
1. 給付対象（給付要件）	65
2. 給付までのプロセス	66
3. 助成率に関する特例措置	67
4. 給付状況	73

5. 支出額.....	79
6. 長期部分的失業制度 .....	82
7. 繼続助成抑制策.....	83
8. 副作用に関する言説 .....	84
9. 併用される他の主な雇用維持政策 .....	84
10. 特例打ち切り後の雇用情勢（失業情勢） .....	84
11. 金融危機との比較 .....	87
第3節 コロナショック下における雇用維持政策の評価.....	91
1. 政策評価・分析.....	91
2. 不正受給.....	98
小括.....	99